

○ 本校の概要

開校は大正15年、今年で97年目を迎える歴史と伝統のある学校である。学級数12、児童数299名である。
本校の特色
○健康でたくましい心と体の育成を目指して、体育の授業改善や体育的活動(①放課後ランニングタイムの設定、体力向上週間における運動奨励など)の充実を通して児童の体力向上及び教員の指導力を高めていく。
○確かな学力の向上を目指して、①年間2回以上の相生小学習定着度調査の実施、②日常的なスピーチ活動の推奨③学年別少人数放課後補習日の設定及び家庭と連携した参加型学習等に取り組み、基礎・基本の確実な定着、読解力、コミュニケーション能力の向上及び教員の指導力の向上を目指す。
○豊かな心の育成に向けて、教職員の指導の共通化を図るために、あおいの子(学習・生活における主な約束事)を基に、全学年・全学級で規範意識や人権意識を向上させる学習や活動を行うことで、児童が安全・安心で、落ち着いた学校生活が送れるようにする。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄【回答数5】 (評価人数, コメント). Rows include: ブラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成, ブラン2 児童・生徒一人ひとりの学力の向上, ブラン3 子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます, ブラン4 体力進の向上と健康の増進, ブラン5 魅力ある教育環境づくり, ブラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す